

# 景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 29 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

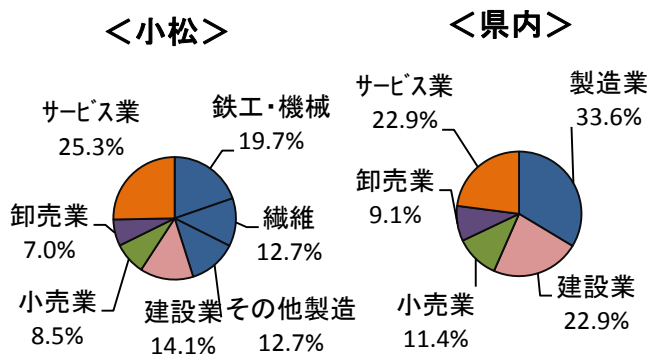
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 214社

回収率 71企業（回収率 33.1%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	14	151
繊維	9	
その他製造	9	
建設業	10	103
小売業	6	51
卸売業	5	41
サービス業(運輸含む)	18	103
合計	71	449



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期……平成 28 年度第 4 四半期(平成 29 年 1 月～3 月)

今 期……平成 29 年度第 1 四半期(平成 29 年 4 月～6 月、但し 6 月は見込み)

来 期……平成 29 年度第 2 四半期(平成 29 年 7 月～9 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益)……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	6	3	3	1	3	0	1	1	0	0	2	2	3	4
不 変	8	6	4	6	6	6	5	5	5	3	2	2	10	9
悪 化	0	3	2	2	0	2	3	3	1	3	1	1	5	5
無回答		2				1	1	1						
総 計	14		9		9		10		6		5		18	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

===景況感(今期)の選定理由===

①好転

海外品の受注（製造業）
受注増加（製造業）
顧客増産に伴い4～8月が高操業期になるが、9月以降減産の見通し（製造業）
季節的(年度替わり)な要因が左右するので（製造業）
冬物の売上状態が悪すぎた（卸売業）

②不変

受注状況がここに来て多くなってきた（製造業）
変わらず観光系バスの注文が多く、経営は好調である（製造業）
売上高の減少（製造業）
客先コマツの変動幅が大きいため（製造業）
コマツ増産（製造業）
大幅な増減がない状態（製造業）
主要ユーザーの市場状況に大きな変化はない（製造業）
先行き明るい兆しは見えるものの、国内景気に勢いはなし（製造業）
公共事業の季節的要因による（建設業）
マーケットが成熟してきた（小売業）
大型店開店による、売上げ減少（小売業）
比較的順調に推移している（サービス業）

③悪化

百貨店が悪く、衣料品が売れていない。高額品が良くない（製造業）
仕事量の減少、人員不足（建設業）
人材不足にあるため（建設業）
卸売・小売業の構造的変化のため、将来展望が描けない（小売・卸売業）
中小企業は業種によりあまり良くない所が多い（サービス業）
仕事量が明らかに少ない（サービス業）

===景況感(来期)の選定理由===

①好転

受注状況がここに来て多くなってきた（製造業）
大手企業の好決算を受け、7月先より若干良くなると予想（製造業）
海外品の受注（製造業）
冬物の売上状態が悪すぎた（卸売業）
比較的順調に推移している（サービス業）

②不変

変わらず観光系バスの注文が多く、経営は好調である（製造業）
売上高の減少（製造業）
コマツ増産（製造業）
大幅な増減がない状態（製造業）
主要ユーザーの市場状況に大きな変化はない（製造業）
先行き明るい兆しは見えるものの、国内景気に勢いはなし（製造業）

### ③悪化

客先コマツの変動幅が大きいため（製造業）
季節的(年度替わり)な要因が左右するので（製造業）
公共事業の季節的要因による（建設業）
百貨店が悪く、衣料品が売れていない。高額品が良くない（製造業）
顧客増産に伴い4～8月が高操業度になるが、9月以降減産の見通し（製造業）
仕事量の減少、人員不足（建設業）
人材不足にあるため（建設業）
マーケットが成熟してきた（小売業）
大型店開店による、売上げ減少（小売業）
卸売・小売業の構造的変化のため、将来展望が描けない（小売・卸売業）
中小企業は業種によりあまり良くない所が多い（サービス業）
仕事量が明らかに少ない（サービス業）

#### (1)-2 DI値

(単位: DI)

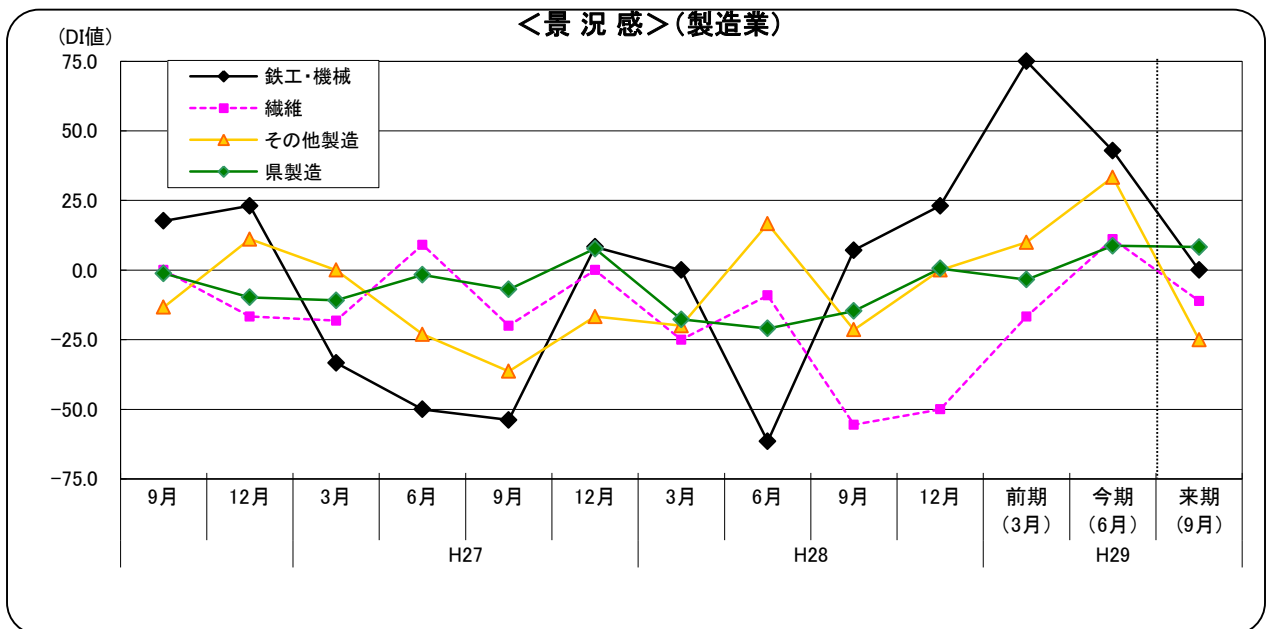
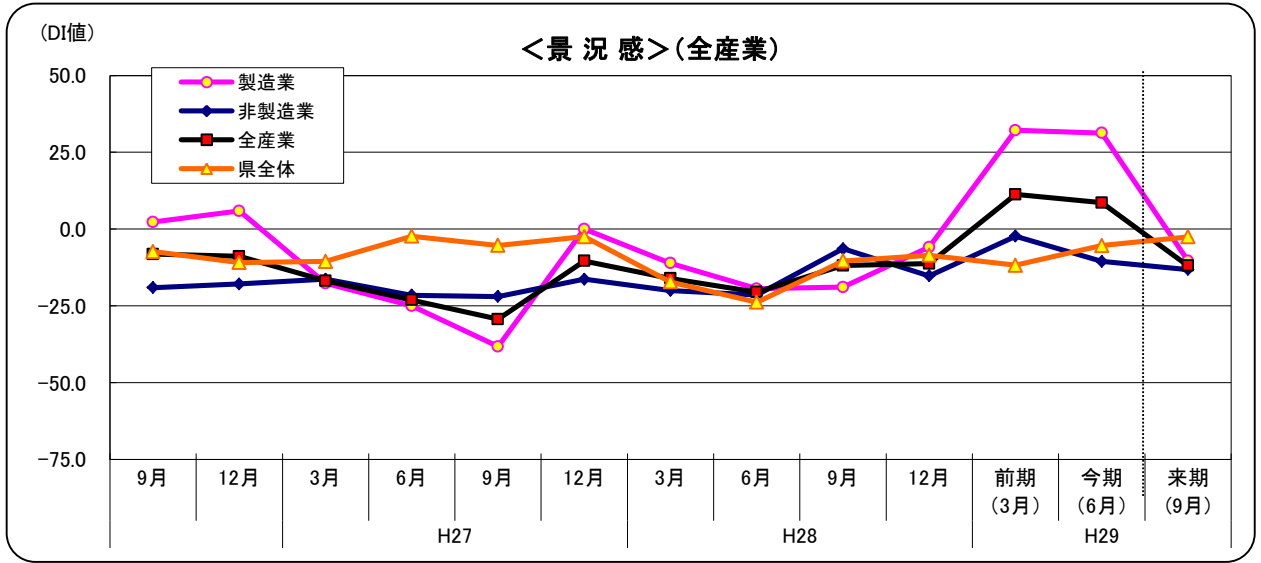
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	75.0	—	42.9	—	0.0	—
	繊維	▲ 16.7	—	11.1	—	▲ 11.1	—
	その他製造	10.0	—	33.3	—	▲ 25.0	—
	製造計	32.1	▲ 3.4	31.3	8.7	▲ 10.3	8.3
非製造業	建設業	▲ 12.5	▲ 4.7	▲ 22.2	▲ 9.9	▲ 22.2	▲ 8.2
	小売業	14.3	▲ 28.8	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 50.0	▲ 19.2
	卸売業	▲ 28.6	▲ 10.5	20.0	▲ 12.2	20.0	0.0
	サービス業(運輸含む)	15.4	▲ 23.5	▲ 11.1	▲ 9.8	▲ 5.6	▲ 5.0
	非製造計	▲ 2.3	▲ 15.9	▲ 10.5	▲ 12.5	▲ 13.2	▲ 7.9
全 体		11.3	▲ 11.8	8.6	▲ 5.4	▲ 11.9	▲ 2.5
改善予測		▲ 22.4	4.9	▲ 20.5	2.9	—	—

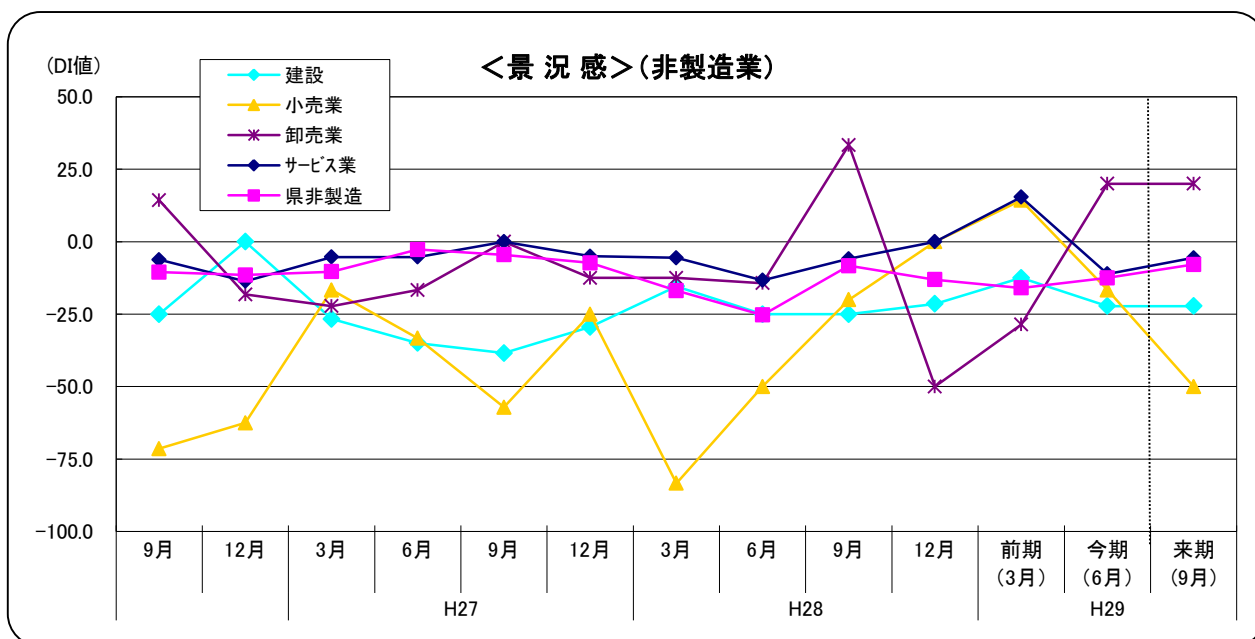
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期75.0ポイントだったが、今期は42.9ポイントと若干悪化、また来期は0.0ポイントと更に悪化の見通しを示している。繊維においては前期が▲16.7ポイントであったが、今期は11.1ポイントと回復傾向となり、来期は▲11.1ポイントと悪化の見通しを示している。その他製造業においては、前期10.0ポイントから今期は33.3ポイント回復傾向となるが、来期は悪化の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲12.5ポイントから今期▲22.2ポイントと若干悪化傾向であり、来期も▲22.2ポイントと横ばいの予測が伺える。小売については今期▲16.7ポイントと悪化、来期▲50.0ポイントと更に悪化見通し、卸売は前期より回復傾向となっており、来期は横ばいの見込み、サービス業は▲11.1ポイントと悪化の傾向となっており、来期も若干悪化の見込みであり、まだ総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H29.6)			来期(H29.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	31.3	14	11	▲ 10.3	▲ 9	▲ 9	32社
非製造業	▲ 10.5	9	13	▲ 13.2	▲ 2	▲ 8	39社
全体	8.6	11	12	▲ 11.9	▲ 5	▲ 8	71社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2) - (5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(H28年度第4四半期)の状況

(単位:DI)

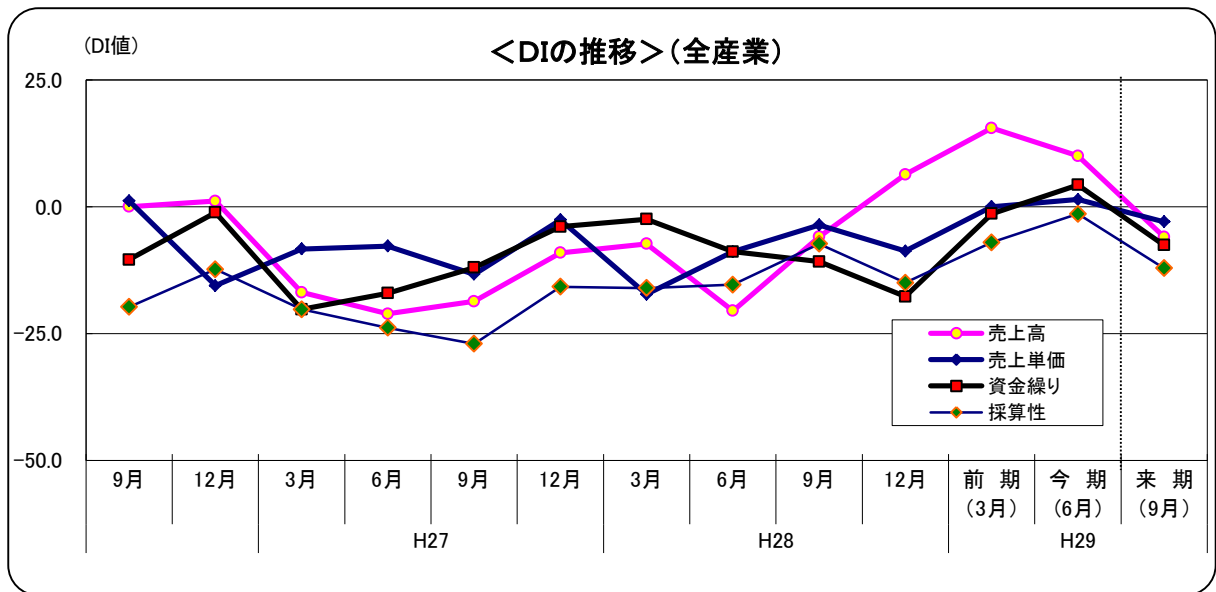
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	28.1	8.1	3.1	▲ 4.0	9.4	4.7	9.4	▲ 3.4
建設業	▲ 33.3	▲ 11.8	11.1	▲ 9.9	▲ 11.1	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 18.8
小売業	0.0	▲ 17.3	0.0	▲ 5.8	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 28.8
卸売業	40.0	▲ 2.4	20.0	▲ 4.9	20.0	2.4	20.0	▲ 12.2
サービス業	▲ 5.6	▲ 11.8	▲ 11.1	▲ 3.0	5.6	▲ 5.0	0.0	▲ 10.8
全体	10.0	▲ 4.9	1.4	▲ 5.4	4.3	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 12.4

来期(H29年度第1四半期)の見通

(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	3.4	15.2	3.4	▲ 4.1	▲ 3.4	0.0	▲ 6.9	▲ 2.8

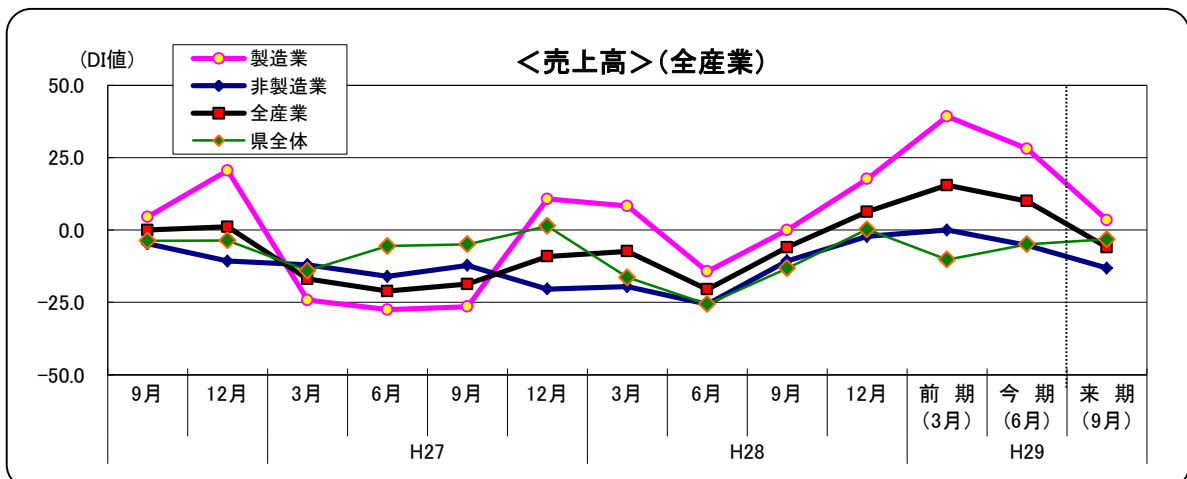
建設業	▲ 22.2	▲ 17.2	11.1	▲ 8.2	▲ 22.2	▲ 5.1	▲ 22.2	▲ 15.3
小売業	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 11.5	▲ 16.7	▲ 3.8	▲ 33.3	▲ 11.5
卸売業	20.0	2.4	0.0	▲ 4.9	0.0	▲ 2.4	20.0	▲ 7.3
サービス業	▲ 5.6	▲ 7.0	▲ 16.7	▲ 2.0	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 17.6	▲ 12.2
全体	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 5.5	▲ 7.6	▲ 3.5	▲ 12.1	▲ 9.2
改善予測 (今回)	▲ 16.0	1.7	▲ 4.4	▲ 0.1	▲ 11.9	▲ 1.9	▲ 10.7	3.1
改善予測 (H29.3)	▲ 28.0	5.2	1.4	2.5	▲ 6.9	▲ 0.3	▲ 4.1	3.3
改善予測 (H28.12)	▲ 10.1	▲ 15.0	7.5	▲ 0.6	11.4	▲ 1.9	7.5	▲ 4.6



(2) 売上高

(単位: DI)

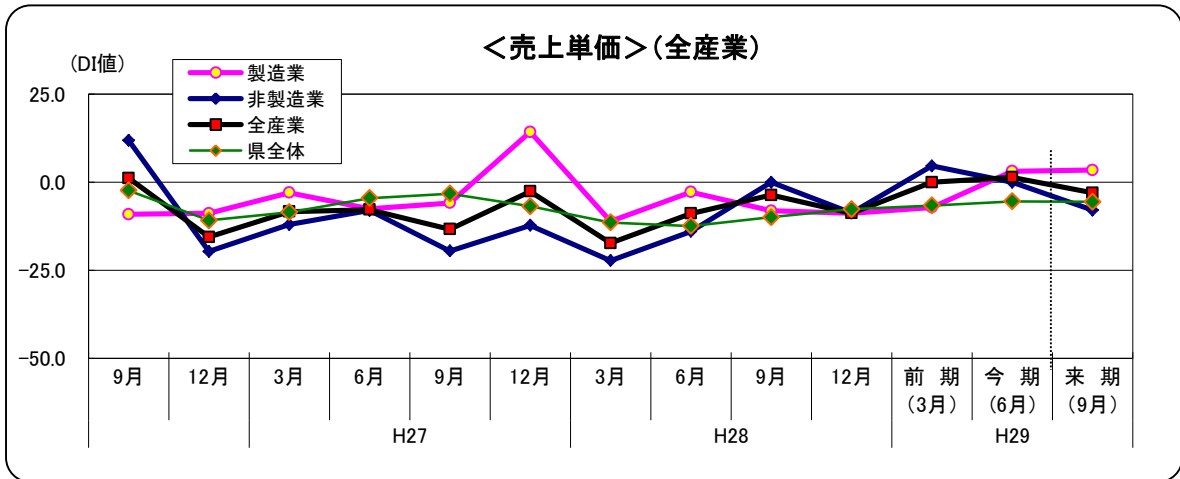
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	16.7	22.2	▲ 37.5	3.4	▲ 22.2	▲ 50.0	20.0	▲ 5.6	▲ 13.2	▲ 6.0	▲ 3.2
今期	42.9	11.1	22.2	28.1	▲ 33.3	0.0	40.0	▲ 5.6	▲ 5.3	10.0	▲ 4.9
前期	83.3	0.0	10.0	39.3	0.0	28.6	▲ 57.1	15.4	0.0	15.5	▲ 10.2



(3) 売上単価

(単位:DI)

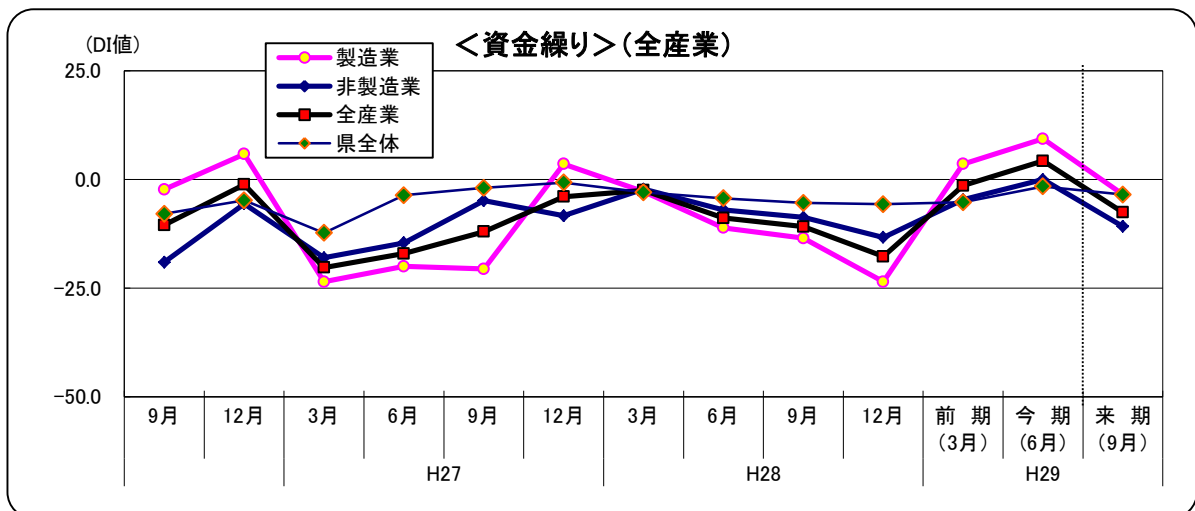
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	16.7	11.1	▲ 25.0	3.4	11.1	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 7.9	▲ 3.0	▲ 5.5
今期	7.1	22.2	▲ 22.2	3.1	11.1	0.0	20.0	▲ 11.1	0.0	1.4	▲ 5.4
前期	8.3	0.0	▲ 30.0	▲ 7.1	0.0	28.6	0.0	0.0	4.7	0.0	▲ 6.6



(4) 資金繰り

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	8.3	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 3.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 5.9	▲ 10.8	▲ 7.6	▲ 3.5
今期	28.6	▲ 22.2	11.1	9.4	▲ 11.1	▲ 16.7	20.0	5.6	0.0	4.3	▲ 1.6
前期	8.3	▲ 16.7	10.0	3.6	0.0	0.0	▲ 28.6	0.0	▲ 4.7	▲ 1.4	▲ 5.2

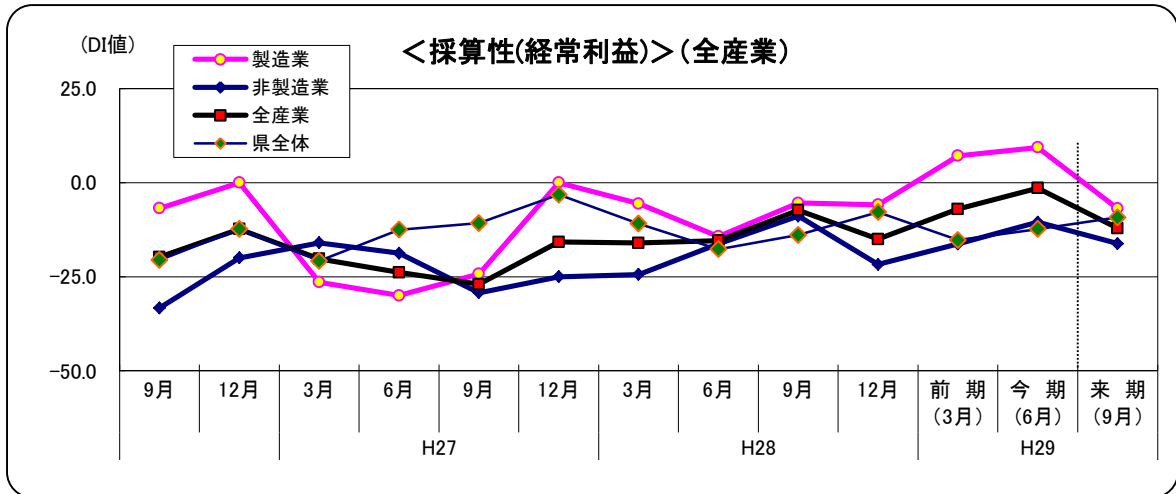




(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

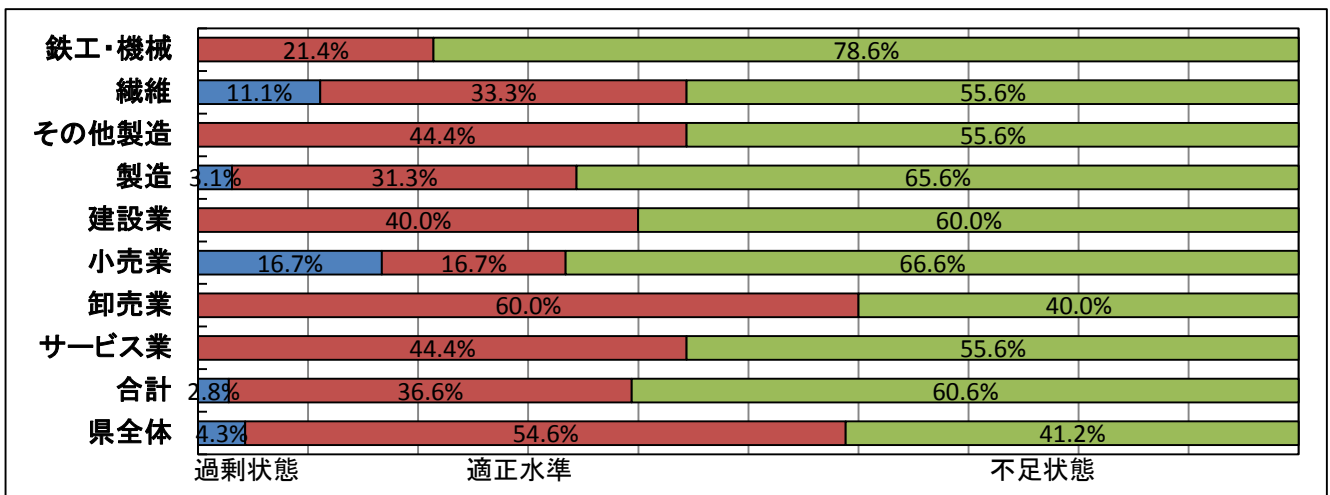
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	▲ 11.1	0.0	▲ 6.9	▲ 22.2	▲ 33.3	20.0	▲ 17.6	▲ 16.2	▲ 12.1	▲ 9.2
今期	28.6	▲ 11.1	0.0	9.4	▲ 33.3	▲ 33.3	20.0	0.0	▲ 10.5	▲ 1.4	▲ 12.4
前期	16.7	▲ 16.7	10.0	7.1	▲ 18.8	0.0	▲ 42.9	▲ 7.7	▲ 16.3	▲ 7.0	▲ 15.3



雇用情勢

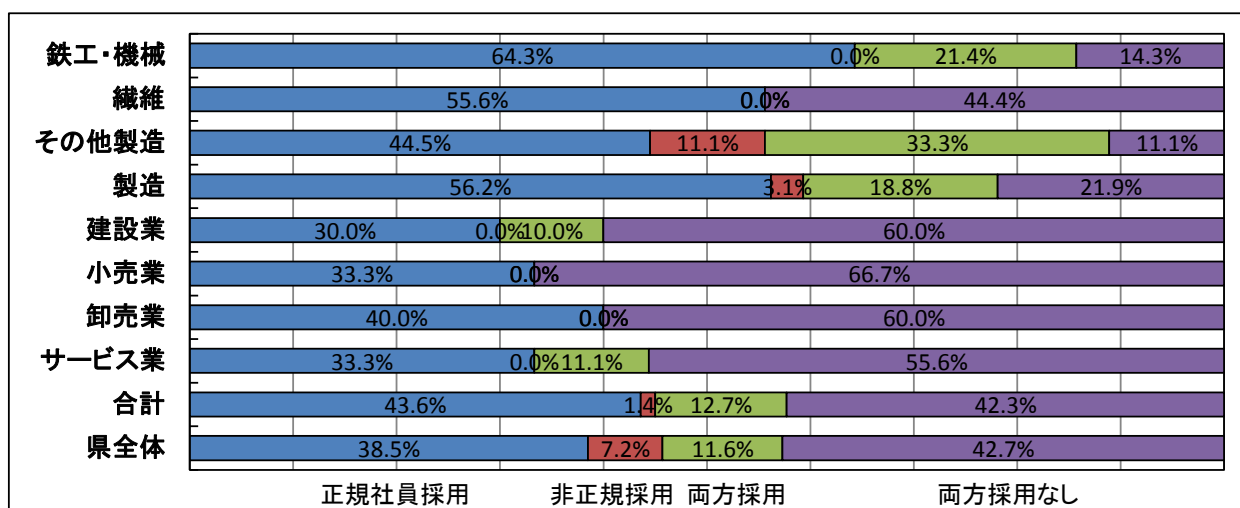
1. 現在の雇用状況については、どの状態ですか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		21.4%		78.6%	
繊維	11.1%		33.3%		55.6%	
その他製造	0.0%		44.4%		55.6%	
製造業	3.1%	6.6%	31.3%	51.0%	65.6%	42.4%
建設業	0.0%	2.9%	40.0%	52.9%	60.0%	44.1%
小売業	16.7%	3.8%	16.7%	61.5%	66.6%	34.6%
卸売業	0.0%	2.4%	60.0%	68.3%	40.0%	29.3%
サービス業(運輸含む)	0.0%	3.0%	44.4%	52.5%	55.6%	44.6%
全体	2.8%	4.3%	36.6%	54.6%	60.6%	41.2%



2. 今期(平成 29 年 4 月以降)に社員の採用を行ないましたか。

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	64.3%		0.0%		21.4%		14.3%	
繊維	55.6%		0.0%		0.0%		44.4%	
その他製造	44.5%		11.1%		33.3%		11.1%	
製造業	56.2%	47.1%	3.1%	7.2%	18.8%	17.6%	21.9%	28.1%
建設業	30.0%	34.3%	0.0%	5.1%	10.0%	6.1%	60.0%	54.5%
小売業	33.3%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	5.8%	66.7%	63.5%
卸売業	40.0%	57.5%	0.0%	2.5%	0.0%	7.5%	60.0%	32.5%
サービス業(運輸含む)	33.3%	30.1%	0.0%	10.7%	11.1%	12.6%	55.6%	46.6%
全体	43.6%	38.5%	1.4%	7.2%	12.7%	11.6%	42.3%	42.7%



Q「雇用情勢」の項目における「選定理由」に関する意見

1. 正規社員を採用

人員不足状態が続いているので (製造業)
人財を育てるのに時間がかかるため (製造業)
将来を見据えた投資と考えている。また時短の流れは変えられない (製造業)
中途採用 (製造業)
定期採用 (製造業)
新卒プラス中途採用 (製造業)
増産や将来の人材不足を考慮したことによる (製造業)
本社(金沢市)にて 10 名入社 (小売業)
退社に伴い 14 名採用 (小売業)
毎年、大卒者の採用を実施している (卸売業)
需要増に対応するため (サービス業)

増員(事業拡大のため) (サービス業)
欠員補充 (サービス業)

### 3. 正規社員、非正規社員の両方を採用

生産物量の変動を非正規社員で対応している (製造業)
生産量増加に対応するため、必要な人材確保 (製造業)
人員不足により (製造業)
定期採用及び実需に相応した採用 (製造業)
介護職について、正規職員では不足のため、4/2以降においてパート職員を採用 (サービス業)

### 4. どちらも採用しなかった

よい人材がいなかった (製造業・建設業)
コストの高い正社員を減らす (製造業)
期末に中国人実習生を採用する予定 (製造業)
現在のところ適正であると思う (製造業)
求人しても来ない (建設業・小売業・卸売業)
面接すら来ない (サービス業)

### 今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	鉄工・機械	繊維	その他	建設業	小売業	卸売業	サービス業
競争の激化	10.7%	6.3%	0.0%	4.5%	9.1%	27.3%	13.3%
仕入単価の上昇	17.9%	12.5%	10.0%	13.6%	18.2%	9.1%	10.0%
経費の増加	10.7%	24.9%	10.0%	13.6%	18.2%	27.3%	6.7%
販売単価の低下・上昇難	0.0%	0.0%	10.0%	13.6%	0.0%	9.1%	13.3%
金利負担の増加	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
需要の停滞、売上の減少	10.7%	18.8%	30.0%	9.2%	18.2%	9.1%	13.3%
従業員の確保難	35.7%	24.9%	30.0%	36.5%	27.2%	18.1%	30.1%
後継者の育成・確保	0.0%	6.3%	10.0%	4.5%	9.1%	0.0%	10.0%
その他	14.3%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%

	小松		県内
従業員の確保難	39社	30.4%	22.9%
需要の停滞、売上の減少	18社	14.1%	16.6%
経費の増加	18社	14.1%	13.6%
仕入単価の上昇	17社	13.3%	12.5%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	13社	10.1%	9.4%
販売単価の低下・上昇難	9社	7.0%	9.9%
後継者の育成・確保	7社	5.5%	10.4%
その他	5社	3.9%	2.6%
金利負担の増加	1社	0.8%	0.6%
事業資金の借入難	1社	0.8%	1.5%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

時短（製造業）
受注不安定（製造業）
生産の波が大きいこと（製造業）
納期遅れ（製造業）
特になし

Q具体的な問題点

求人をしているが、応募者がいない（製造業）
求人への反応が薄い（製造業）
求人難、人件費の上昇、電力料金の高騰が加工費採算に見合わない（製造業）
メーカーの生産の増減により、労働時間が長くなる。そのため人件費の割合が高止まりしている (製造業)
急激な増産の対応をするための人材確保と、一方で低操業時の人員調整。及びそれに係る無駄な維持等（製造業）
低コスト住宅の傾向があり、粘土瓦が屋根材として利用される率が減少している（製造業）
業界全般に需要が減少気味のため（製造業）
我々の作るものが売れない（製造業）
人がいない、仕事が少ない、県・市・元請がない（建設業）
社員の採用が困難になっている（建設業）
社員の育成（小売業）
人員不足と高齢化（小売・卸売業）
将来的に、卸・小売という商業形態がなくなっていくのでは（小売・卸売業）
鉄鋼メーカーの強力な値上げ実施による価格転嫁を、厳しい同業者との競争の中生充分に実施できない（卸売業）
優秀な人材不足（サービス業）
バス運転手の不足（サービス業）
人材不足により、外注費が増大している（サービス業）
季節的に大人数の宴会がない（サービス業）

人材の定着・育成について(複数回答可)

	鉄工・機械	繊維	その他	建設業	小売業	卸売業	サービス業
賃金の向上(基本給・ボーナス)	23.5%	22.7%	15.8%	21.6%	22.6%	42.8%	33.4%
時間外労働の削減・休暇制度の利用促進	14.9%	9.1%	21.1%	14.8%	25.7%	28.6%	22.2%
能力や適正に応じた昇給・昇進	17.0%	22.7%	15.8%	18.2%	6.5%	0.0%	22.2%
福利厚生制度の充実	6.4%	4.5%	10.5%	6.8%	12.9%	0.0%	0.0%
成果や業務内容に応じた人事評価	10.6%	18.3%	10.5%	12.5%	9.7%	14.3%	0.0%

研修・能力開発・資格取得支援の充実	8.5%	9.1%	5.2%	8.0%	6.5%	0.0%	11.1%
職場環境・人間関係への配慮	17.0%	13.6%	21.1%	17.0%	12.9%	14.3%	11.1%
その他	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%	3.2%	0.0%	0.0%

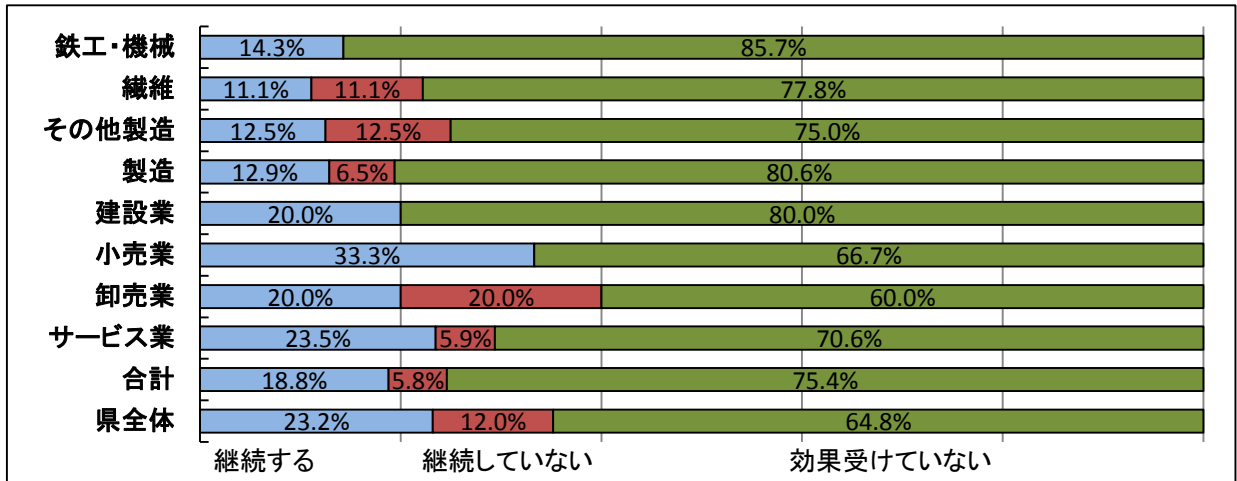
	小松	県内	
賃金の向上(基本給・ボーナス)	42社 24.6%	21.0%	24.6%
時間外労働の削減・休暇制度の利用促進	30社 17.5%	15.9%	17.5%
職場環境・人間関係への配慮	27社 15.8%	17.8%	15.8%
能力や適正に応じた昇給・昇進	26社 15.2%	15.4%	15.2%
成果や業務内容に応じた人事評価	20社 11.7%	12.2%	11.7%
研修・能力開発・資格取得支援の充実	12社 7.0%	8.7%	7.0%
福利厚生制度の充実	12社 7.0%	8.3%	7.0%
その他	2社 1.2%	0.6%	1.2%

Q「人材の定着・育成」の項目における「8. その他」の意見

自社をどうアピールして見てもらえるようにするか、そして入社後の教育(考え方) (製造業)
人手不足により、一人当たりの負担が増加し、それが離職者につながる悪循環 (製造業)
賃金・評価・教育・職場環境をバランスよくPDCAで改善していくことが必須 (製造業)
労務単価上昇を希望する (建設業)
有効手立てなし。際限のない給与引き上げに続くのでは (建設業)
企業の業績が上がらないとできない (建設業)
育成評価システムを導入した。課題を抽出して明確化できた (小売業)

北陸新幹線開業に伴う影響について(追跡調査)

	継続している		継続していない		効果を受けていない	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	14.3%		0.0%		85.7%	
繊維	11.1%		11.1%		77.8%	
その他製造	12.5%		12.5%		75.0%	
製造業	12.9%	19.5%	6.5%	10.1%	80.6%	70.5%
建設業	20.0%	21.4%	0.0%	9.2%	80.0%	69.4%
小売業	33.3%	26.0%	0.0%	6.0%	66.7%	68.0%
卸売業	20.0%	22.0%	20.0%	22.0%	60.0%	56.1%
サービス業(運輸含む)	23.5%	29.9%	5.9%	16.5%	70.6%	53.6%
全体	18.8%	23.2%	5.8%	12.0%	75.4%	64.8%



Q「北陸新幹線開業の影響」の項目における具体的な意見

継続している

金沢駅には人が多い（製造業）
石川県全般的に観光客が多くなっていると思う（製造業）
金沢～能登は続いている（建設業）
金沢中心ではありますが、ホテルなどの建設需要があるため（建設業）
金沢駅前店の集客力UPした（小売業）
乗合(バス等)の購入が増加している。特に旅館等（小売業）
開業効果は少し減ってはいるが関東周辺のお客様増（サービス業）
観光路線の利用が好調を維持している（サービス業）
間接的に影響がある。倉庫需要（サービス業）

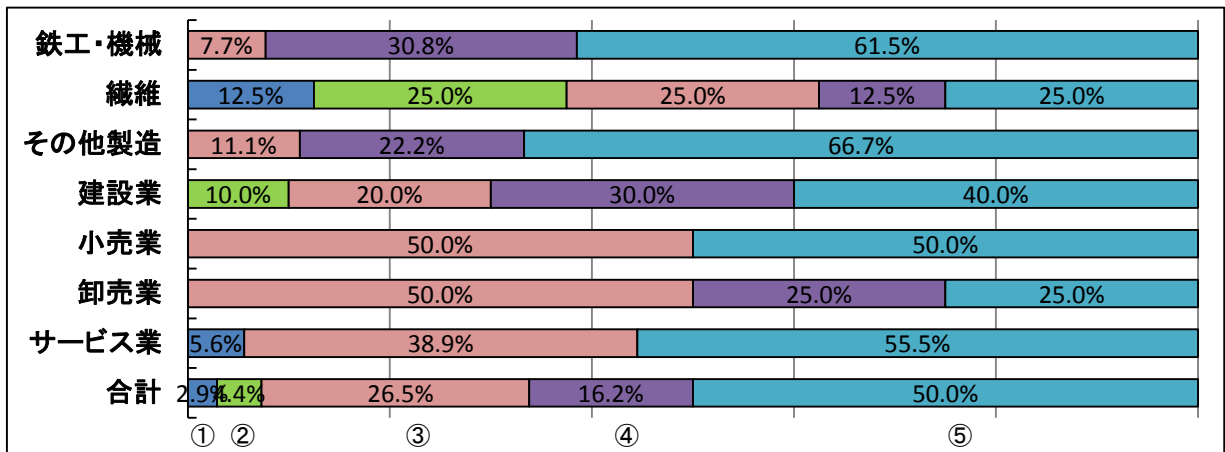
継続していない

弊社事業とは関係ない（製造業）
小松には余り影響がない（サービス業）

働き方改革に伴う従業員の兼業・副業の現状について(小松調査)

①従業員の兼業・副業について

	推進している		③やむを得ず容認	認めない		無回答
	①該当あり	②該当なし		④将来容認	⑤将来も否認	
鉄工・機械			1	4	8	1
繊維	1	2	2	1	2	1
その他製造			1	2	6	
建設業		1	2	3	4	
小売業			3		3	
卸売業			2	1	1	1
サービス業	1		7		10	
合計	2	3	18	11	34	3



②兼業・副業に対する期待する効果（複数選択可）

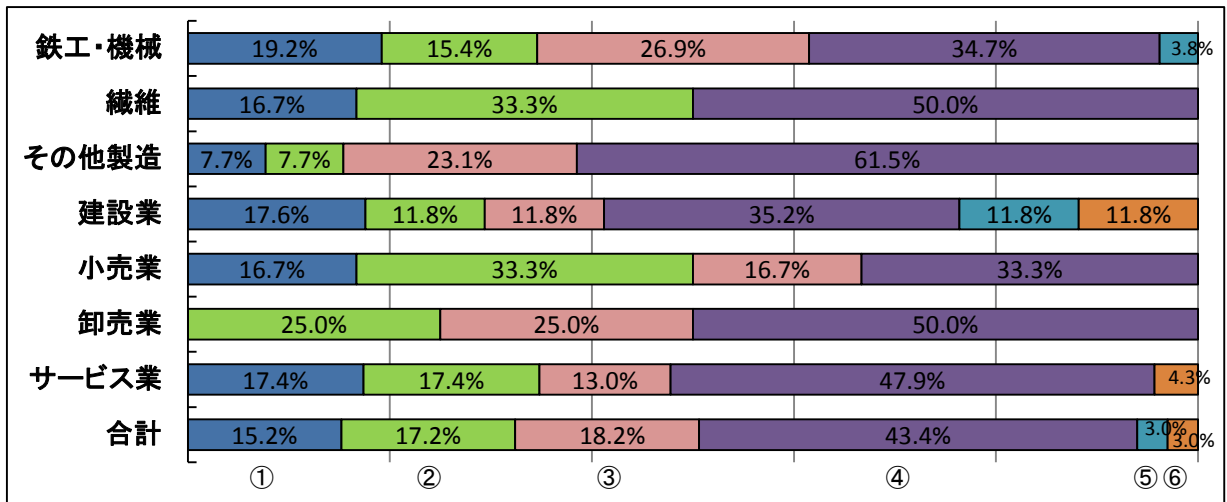
	繊維業	建設業	サービス業
1. 人手不足解消、多様な人材の活躍推進につながる	1	1	
4. イノベーションの創発・経済活性化につながる	1		
5. 人材育成・従業員自身のスキル向上につながる	1		
7. その他(収入を増やしてもらう)	1		
無回答			1

③兼業・副業について懸念される事項（複数選択可）

	鉄工・機械	繊維	その他製造	建設業	小売業	卸売業	サービス業	計
①中小企業にとってはかえって人手不足助長する(将来的に他社に引き抜かれる恐れ)	5	1	1	3	1		4	15
②営業機密や情報の漏洩、利益相反につながる	4	2	1	2	2	2	4	17
③万一、労災が発生した場合、本業の労災と区別がつかない	7		3	2	1	2	3	18
④従業員自身の長時間労働・過重労働を助長する	9	3	8	6	2	4	11	43
⑤他社に、自社の業績不振・将来不安として映ってしまう	1			2				3
⑥その他				2			1	3

「⑥その他」の意見

・どっちつかずになり、本業での向上心がなくなる。兼業、副業というより、二股になる（建設業）
・あまりいい事ではない（建設業）
・自社の業務の質の低下を懸念（サービス業）



■ その他、景気全般に関してご意見をお聞かせ下さい。

景気は悪くはないが、人手不足が課題である（製造業）
内地は決してよくない（製造業）
メーカーの一人勝ちで、決して良いとは思えない（製造業）
製造業に時間の短縮や賃上げは、大企業ならよいが、中小企業は今後厳しい（製造業）
ここに来て受注状況が増している（製造業）
良い、良くなるという感じではない（製造業）
回復基調にはあると思うが、政府の見解との乖離を感じるし、各種情勢による不透明感は拭えない（製造業）
我々の認識と時々発表される好況感とはズレがあるようだ（製造業）
公共事業の元請がない（建設業）
良くない（建設業）
景気の上昇と持続とアナウンスあるが、それを感じているのは何パーセントあるか？（建設業）
消耗品・目新しい物は動くが、投資は先行き不透明感でしない方向（小売業）
冬の悪状況からは脱したが、現在も天候不順で殺虫剤が売れない（卸売業）
景気全般で見れば悪くはないが、全般で見ても意味のない市場構造（卸売業）
オリンピック特需以後にも好景気は続くと思われる（サービス業）

■ 商工会議所へのご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

①製造業に時間の短縮や賃上げは大企業ならよいが、中小企業は今後厳しいということ、国にわかって頂く事を要望して欲しい（製造業）
②我々の様な小企業にもっと、手をさしのべてほしい（建設業）
③人がいない。特に若い年代の人（建設業）
④企業の内容を熟知し、それを業績に結び付ける回路を見つけてやること（建設業）
⑤研修会等の育成プログラム展開、ビジネスマッチング等の展開（小売業）



## 会議所コメント：

①②本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業・小規模事業者の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

③④⑤ 本年度より企業見学・インターンシップを実施予定しております。

人材確保難への対応だけでなく、将来の人口減少を見据え、小松市の企業のすばらしさをPRすることで、IUターン者による人口増が小松市の元気に繋がると考えております。

また、本所では年間を通し各種セミナーを開催し、創業塾による人材育成や、事業継承のための後継者育成研修を実施しております。会報及びHPにてご案内をしておりますので、ぜひお役立て下さい。